

# 都立大塚ろう学校放課後子供教室

## ■実施組織

NPO法人大塚クラブ 構成メンバー（学生・一般ボランティア、保護者、教員）

## ■プログラム内容

算数検定教室、漢字検定教室（新型コロナウイルス感染症のため本年度は検定のみ実施）  
学習活動ダンボ、絵画造形教室、サッカー教室、レククラブ（サッカー・ワークショップ）  
多様な子どもたちの架け橋プロジェクト（手話イベント7/8）  
サンサンカーニバル（夏祭り 9/23）、クリスマスファンパーティ（12/9）  
プログラミング教室、キッズ英語教室

## ■実施規模

年間：土曜日29回 平日・祝日7回

## ■活動のPR

大塚クラブは、学校週5日制完全実施をきっかけに、保護者・教職員・学生ボランティアが中心となって平成13年度に活動を開始、平成17年度にNPO法人化しました。

聴覚障害児の放課後対策推進のために私たちが考えたことは

1. 生活環境と背景（同年代・適正規模の仲間集団）
2. 言語の発達（コミュニケーションの質と量）
3. 社会性の発達（発達段階に応じた言語力）
4. ロールモデルとしての聴覚障害成人との触れあい  
（ロールモデルの存在）
5. 学力の伸長（質の高いわかりやすい授業）
6. 遊びで育つ生きる力（雑学による知識・行動力）
7. 授業以外で学んだものは、間接的に授業を支える  
（適切な知的好奇心への刺激）

提供するプログラムのすべては、この7つのいずれか又は複数を担保して、これを元に評価改善を行います。大塚ろう学校在校生だけではなく、広く都立ろう学校、近県のろう学校から多様な子ども達が集まります。また、年間を通したボランティアに加え、外部からのゲストも積極的に受け入れて、参加者のモチベーションのアップ、子供たちのニーズの掘り起こしを行っています。本事業の対象ではありませんが、子供教室と同じ時間帯に、家族のための手話教室（パパ手話）、母親学級、ボランティア養成講座などを実施、子どもたちを支援する側の養成にも力を入れています。

